

土壌腐植の合成促進技術

天然腐植による農地生産性の向上を目指して

減農薬

減肥料

期待が高まる土壌腐植の多様な機能性

- 土壌緩衝能の向上
- 肥料成分の吸着により肥効を高め、成分流出防止
- アルミニウムの不活性化と、リン酸肥効の向上
- 土壌の団粒化の促進、土壌物理性の改善
- 植物生理活性機能による病害抵抗性の強化
- 有害重金属の凝集などの土壌浄化機能を持つ。
- 臭気の抑制機能

有機農業のキーワードは「堆肥」から「腐植」へ

家畜排泄物・生ゴミなどの有機性廃棄物から
腐植化促進材により短期間で土壌還元可能な腐植を合成

【腐植】： 植物や動物の遺体、排泄物などの有機物が土壌中で生物的・化学的作用を受けて新たに再合成された高分子有機物のこと。「地力」の源泉ともなる農業生産性を飛躍的に向上させる重要な物質。土壌に黒味を与える。肥沃な土壌には豊富に含まれていたが、化学肥料の連用により減少している。これまで天然腐植の効果的な合成方法は明らかにされていなかった。

平成16年度 共同研究（帯広畜産大学 助教授 谷 昌幸）



<http://www.leaps.jp/>